



藤木しんや 活動報告



農協改革の5年後見直し・ 准組合員の事業利用規制 について結論

～自民党の公約に沿った内容で決着！～

6月18日に規制改革実施計画が閣議決定

実施計画では、各JAが自己改革や准組合員の事業利用の方針などを総会で定めて実行し、農水省が指導・監督する「自己改革実践サイクル」を構築・実践することが盛り込まれました。

自己改革実践サイクルの構築

- ①各JAで次の方針等を策定し、総会で決定
 - ・所得増大につながる自己改革の具体的方針
 - ・中長期の収支シミュレーションをふまえた改善策
 - ・准組合員の意思反映と事業利用の方針
- ②自己改革を実行
- ③実績を分析し組合員に説明
- ④さらなる改革へ方針を修正
- ①～④を毎年継続して実施
 - ➡農水省が指導・監督

信用事業

- 農業・関連産業向けの投融資について
 - ・JAバンクとして中長期的な戦略を策定
 - ・農林中金、信連、JAが目標、計画を設定
- 策定(設定)、実行、評価、改善のサイクルを構築
- 農林中金が金融環境の急速な変化に対応できる態勢を強化
 - ➡農水省が金融庁と連携して指導・監督

与党公約通りの内容で決着

この仕組みでは、准組合員の事業利用は各JAが組合員の判断に基づいて決めるため、一律的な規制は導入されません。与党の公約の内容通りに決着させることができました。

これもJAグループを挙げて創意工夫ある自己改革に取り組んできたことが評価を得たということであり、JAグループ関係者の皆様のご努力に改めて敬意を表すものです。

一方、私もJAの組合長を務めていたときには、集落座談会や組合員アンケート等を行い、組合員からの意見や評価をふまえ事業改善に努めてきました。ただ、組合員の世代交代や合併等により、このことができていなかった面があるのは事実であり、今後、この自己改革実践サイクルの再構築・強化を図り、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に向け自己改革をさらに進化させていくことが求められていると思います。

令和元年参議院選挙公約

自民党

JAグループが創意工夫により取り組んでいる自己改革を後押しします。准組合員の事業利用に関する規制のあり方については、農協組合員の判断に基づくものとします。

一連の農協改革の議論を通じての思い

私がJA組合長を務めていた平成26年5月に、現場の実態とかい離し、協同組合の自主性を尊重しない最初の規制改革推進会議の意見が出され、その後改正農協法が平成27年夏に成立しました。

そのとき、組合員・現場の声を国政に伝えないといけなとの危機感を強く持ち、そのことが大きな要因の1つとなって、参議院選挙に立候補させていただきました。准組合員の事業利用規制の阻止をはじめ、JAの自己改革を尊重すべきと強く訴えてきました。

当選後、すぐに全農改革などがありました。自民党農林幹部（インナー）の先生方に強く現場の思いを伝え働きかけた結果、全農の株式会社化等を阻止することができました。

その後、平成30年に二階俊博幹事長がJA全中の大会で、「准組規制は組合員が判断すべき」と発言されました。このことは、大きく農協改革の流れを変え、平成31年の参議院選挙の公約に盛り込まれました。

自己改革をしっかりと進めていただいたことと併せて、与党幹部への働きかけを続けてきた成果であると感じるとともに、農林幹部の議員になって国政を動かすことの重要性も強く認識しました。



今後の農協改革について

今回、いわゆる「5年後見直し」という約8年にわたる農協改革の大きな区切りを迎え、准組規制をようやく完全阻止し、自己改革が真に尊重されることとなりました。しかし、まだ規制改革推進会議は存在しています。一部の野党には、農協の株式会社化等を訴え続けているところもあります。まだまだ予断を許す状況にはなく、国政でしっかり現場の意見を伝え、実態をふまえない議論を跳ね返す必要があると感じています。

また、人口減少下において、農業者の所得増大、地方活性化などに向けたJAの役割・期待は増すばかりであり、そのための自己改革の後押しとして、支援策の強化・確保がさらに重要になります。このことを実現するためにも、来年の参議院選挙でしっかり勝たせていただき、私のモットーである「農家・JAの声を国政に」の実現をさらにすすめていく所存です。

LINE公式アカウント
はじめました!

QRコードから
簡単に友達登録!



藤木しんやの
メッセージや活動などを
タイムリーに発信!

藤木しんやプロフィール

【所属委員会(参議院)】

農林水産委員会 理事
予算委員会
災害対策特別委員会
資源エネルギーに関する調査会

【これまでの主な役職】(～令和2年9月末まで)

農林水産大臣政務官
参議院農林水産委員会 理事
参議院東日本大震災復興特別委員会 理事
参議院災害対策特別委員会 委員
自由民主党参議院国会対策委員会 副委員長
自由民主党畜産・酪農対策委員会 事務局次長

参議院議員 1期目(平成28年7月初当選)
参議院自由民主党 副幹事長
自由民主党 農林部会 副部会長

【経歴】

昭和42年2月25日生まれ(54歳)
熊本県上益城郡嘉島町出身
熊本県立熊本農業高校畜産学科卒業
昭和61年就農(当時19歳)
平成17年 JA全青協会長 就任
平成26年 JAかみましき代表理事組合長 就任

【経営内容】

水田経営8ha(米・小麦・大豆)、
畜産経営900頭(肥育牛400頭、繁殖牛420頭、子牛80頭)

国政報告のご依頼・ご要請など

お気軽に
お声がけください!
皆さんのもとへ
駆けつけます!

藤木しんや
後援会



〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-12
安輝ビル4階
TEL:03-6262-9936 FAX:03-6262-9937



〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館1006号室
TEL:03-6550-1006 FAX:03-6551-1006

藤木しんやホームページ
<https://www.fujiki-shinya.com>



藤木しんやフェイスブック <https://www.facebook.com/fujikishinya.kumamoto/>

